

報 告 *Report*

ものづくり大学同窓会 2018 年度 活動報告

原稿受付 2019 年 6 月 26 日

ものづくり大学紀要 第 9 号 (2019) 65~70

中元良成*1, 上原苑子*2, 加藤大樹*3, 神裕仁*4, 大塚秀三*5, 齋藤修一*6

*1 ものづくり大学同窓会 理事(事務部 総務課 会計係)

*2 ものづくり大学同窓会 会長(学務部 学生課 就職・インターンシップ係 主任)

*3 ものづくり大学同窓会 理事(学務部 教務・情報課 教務係 主任)

*4 ものづくり大学同窓会 書記(事務部 総務課 施設係)

*5 ものづくり大学同窓会 監事(技能工芸学部 建設学科 教授)

*6 ものづくり大学 学務部 学生課 参事(就職担当)

1. はじめに

ものづくり大学同窓会（会長：上原苑子・建設 2 期）は、2008 年度の設立から、ものづくり大学卒業生への情報発信および支援等をはじめ、地域貢献活動を中心に行っている。設立から 10 年目を迎え近年においては、大学を取り巻いた活動も多くなり、大学・在学生と卒業生を繋ぐ存在であることを確立してきている。

ここでは、2018 年度に、ものづくり大学同窓会の活動を報告する。

2. 活動概要

活動概要は「表 1」の通りである。「ものづくり体験教室」の開催は、行田市よりものづくり大学が依頼を受けて実施している「おもしろものづくり教室」や金属労協（JCM）埼玉主催親子ものづくり教室など 2 回実施した。同窓会設立 10 周年を記念した「設立 10 周年記念式典」では、ものづくり大学教職員の協力のもと実施した。「碧蓮祭における活動」では、同窓会員等からの寄付金で実施しているものづくり大学同窓会花火大会および懇親会を開催、卒業生を主として行う体験教室・展示会・出店ブースの設置等実施した。「最終講義」では、大学との共催で、退職される教員による最終講義を実施し、多くの参加者が訪れた。「証明書発行代行」では、卒業生の証明書発行を同窓会が代行で行うことで就業支援の一環として、2018 年度より新たに実施した。「同窓会奨学金」、「新入生歓迎イベント」、「同窓会表彰」に加え、「卒業生への記念品贈呈」を新たに実施し、在学生に向けたサポートの充実も活動の幅として広げた。

表1 ものづくり大学同窓会 2018年度活動概要

No.	活動	実施時期
1	新入生歓迎イベント	4月20日
2	ものづくり体験教室	7月1日, 9月29日
3	設立10周年記念式典	9月9日
4	碧蓮祭における活動	10月27日, 10月28日
5	同窓会奨学金	11月21日 (奨学生証認定授与式)
6	最終講義	2月14日
7	同窓会表彰	3月15日
8	卒業生への記念品贈呈	3月15日
9	証明書発行代行	随時

3. 活動内容

3.1 新入生歓迎イベント

3.1.1 概要

「新入生歓迎イベント」とは、新入生と教職員・在学生在が交流を図ることにより、新入生が大学生活における不安を解消し、早く大学生活に馴染めるようにすることを目的とし、ものづくり大学同窓会主催で2017年度より継続して実施しているイベントである。

3.1.2 実績報告

ものづくりの道で新入生歓迎バーベキューを開催し、多くの新入生が参加した。また、上級生も多く参加し、所属しているクラブ等の紹介などを行っている姿も見られ、在生同士との交流を深めることができた。2018年度では、新たに音楽を流す演出で、参加者数を増やすことができた。参加した学内関係者から好評であったため、今後も継続してイベントを主催していきたい。

3.2 ものづくり体験教室

3.2.1 概要

「ものづくり体験教室」は、行田市、大学からの依頼を受け活動を行っている。主な活動は、子供向けの体験教室であり、体験教室を通じて、参加者の「ものづくり」に対する関心を深めることと同時に、ものづくり大学の認知を広げる目的で継続して実施している。体験教室実施にあたり、講師等のスタッフについては、卒業生の有志で募ったTeaching Staffを中心に行っている。

3.2.2 実績報告

2018年度の体験教室の実施は「表2」の通りである。毎年実施している「おもしろものづくり教室」の他、金属労協(JCM)埼玉からの依頼による体験教室といった行田市だけでなく埼玉県内における認知度向上のきっかけにもなった。体験教室では、卒業生の有志

だけでなく在大学生をスタッフとしたため、参加者が親しみやすい体験教室ができ高い満足感を得られたとともに、大学のイメージアップ、認知度向上にも繋がっているため、今後とも継続して行っていきたい。

表2 体験教室実施一覧

No.	体験教室名	イベント	実施日 実施場所	依頼元	参加者数
1	ちょっとおしゃれなトレーをつくろう！	おもしろものづくり教室	2018年7月1日 ものづくり大学	ものづくり大学	45名
2	グラスブラストでコップに絵を描こう	金属労協(JCM)埼玉主催 親子ものづくり教室	2017年9月2日 ものづくり大学	ものづくり大学	44名

3.3 設立10周年記念式典

3.3.1 概要

「設立10周年記念式典」は、ものづくり大学同窓会設立10周年を記念して、また、同窓生の親睦を深めることを目的に2018年9月9日(日)如水会館にて開催した。式典は、株式会社日立製作所名誉相談役の庄山悦彦氏、前田建設工業株式会社総代の前田又兵衛氏の来賓出席、ものづくり大学職員からの運営サポートや、各卒業期有志から成る記念式典検討部会員による事前準備など、学内外から多くの支援を得て実施できた。

3.3.2 概要

記念式典では、153名の出席があり、大いに参加者の親睦を深めることができた。当日は、式典のほか、当日参加できなかった退職された教員、非常勤講師からのビデオメッセージや、ものづくり大学の空撮映像の投影などの催しも実施し、参加者それぞれが楽しんでいる様子が伺えた。今回の記念式典では、実施場所や運営方法、卒業生への周知方法等、次回に向け検討が必要となる点もあったため、次回開催の際には、検討事項として活かしていきたい。

3.4 碧蓮祭における活動

3.4.1 概要

「碧蓮祭における活動」では、卒業生および教職員の寄付金協力により実施している花火大会や懇親会、卒業生による体験教室・模擬店・遊具の制作・展示会の出展支援、近隣店舗の模擬店誘致、1年生の出店支援等様々な活動を行っている。なお、碧蓮祭は10月27日(土)、10月28日(日)に開催された。

3.4.2 実績報告

卒業生で制作したジェットコースターは、大行列になるほどの賑わいを見せていた。体験教室の会場でも、例年以上の参加者を記録した。

花火大会と同時開催の懇親会会場では、卒業生を始め、退職された教員、在生も参加しており、例年通りの賑わいを見せた。碧蓮祭に1年生団体の出店が少ないため、運営のし易さ向上を目的に、1年生団体のうち6団体に出店支援を行った。次年度以降も、碧蓮祭参加学生増を目的とし、これらの活動を続けていきたい。

3.5 ものづくり大学同窓会奨学金

3.5.1 概要

「ものづくり大学同窓会奨学金」とは、ものづくり大学の掲げる教育理念の下、優秀な人材の育成を目的とし、授業料等の経済的負担の軽減を図るための支援として、2017年度から始めた給付型の奨学金である。学業成績が優秀で修学意欲に富み、かつ、人物健康とも優れ将来が嘱望される者、家計が経済的に窮している者を対象に、年額12万円、対象者8名、総額96万円を給付している。

3.5.2 実績報告

2018年度も8名に給付を決定し「奨学生証認定授与式」を11月21日（水）に実施した。今後も、在生学生の経済的負担の軽減に貢献し、より多くの優秀な人材を社会へ輩出するための支援として、「ものづくり大学同窓会奨学金」を引続き実施していきたい。

3.6 最終講義

3.6.1 概要

「最終講義」は、ものづくり大学との共催で行い、当該年度で退職される教員による講義を実施している。講義の内容については、教員に一任しており、教員の個性が活かされた講義内容となっている。参加者は卒業生だけでなく、在生、学内の教職員、非常勤講師も参加している。また、講義終了後には、退職される教員との懇親会を実施した。

3.6.2 実績報告

2018年度は、市川茂樹教授（総合機械学科・成形加工研究室）、藤原教授（建設学科・空間デザイン研究室）による最終講義が行われた。2名の教授は、研究成果、在職中の思い、学生へのメッセージ等、普段の講義では聞けない内容を話していた。

参加者数は、各研究室の卒業生を中心に周知した結果、100名弱の参加があった。懇親会では、退職される教員の卒業生や卒研学生、教職員など多くの参加があり、賑わいを見せた。

3.7 同窓会表彰

3.7.1 概要

「ものづくり大学同窓会表彰」は学内の卒業（修了）研究・制作で優れていると認められた学生や、社会的に学術研究等の成果が優れていると認められた学生等を表彰する制度であり、卒業（修了）研究・制作に取り組む学生の成果を評価することで、学生の研究・

制作に取り組む姿勢を高めてもらいたいという願いから 2013 年度より継続して実施している。なお、表彰対象者については両学科教員の協力のもと選考されている。

3.7.2 実績報告

2018 年度のものづくり大学同窓会表彰は、「表3」の通り、8名の卒業生（製造学科4名、建設学科4名）、1名の修了生が選考され、学位記授与式において表彰を行った。受賞した卒業（修了）生には、ものづくり大学同窓会表彰を受け、社会に出てからもより一層の活躍を期待したい。

表3 2018年度ものづくり大学同窓会表彰一覧

No.	学科	氏名	タイトル
1	製造学科	市川 友貴人	エクストリームポップコーンワゴンの製作
2	製造学科	岩本 将尚	衛星追尾アンテナシステムの構築
3	製造学科	中島 碧海	付加製造技術を用いたフィジケットの製作およびデータ公開の検討
4	製造学科	成田 壮一	AC4CHアルミニウム合金鋳物のマイクロポロシティに及ぼす圧力の影響に関する研究
5	建設学科	五十嵐 海南	コンクリートポンプ工法に用いる輸送管の摩擦に関する実態調査
6	建設学科	金子 友昭	木造戸建住宅の精密性能に関する研究 その2 各部の通気率・隙間特性論
7	建設学科	小林 弘道	小さな居場所 吹上富士見団地改修計画の提案
8	建設学科	渡邊 恵子	古代エジプト祠堂型木製家具の復元制作
9	ものづくり学 学研究科	加藤 祐樹	アルミニウム合金の流動性に関する研究 AC4C 合金の流動長に及ぼす金型表面溝の影響

3.8 卒業生への記念品贈呈

3.8.1 概要

「卒業生への記念品贈呈」は、ものづくり大学を卒業したことを形にし、自信をもって社会に巣立ってもらいたいという願いと、ものづくり大学同窓会の認知度向上を目的として、2018年度から実施した。

3.8.2 実績報告

2018年度では、学位記授与式にて「Institute of Technologists」という英文名称入りの名刺ケースを234名の卒業（修了）生に贈呈した。卒業（修了）生には、ものづくり大学を卒業したという誇りを持って、名刺ケースを利用してもらいたい。

3.9 証明書発行代行

3.9.1 概要

卒業生・修了生が各種証明書を発行する際、大学に来校し直接申請をするか、郵送にて所定の手続きを経て申請を行う必要がある。しかしながら、ものづくり現場の一線で活躍する卒業生の多くが、地理的・時間的制約の中でこうした手続きを経ることが難しい現状がある。2018年度より実施した「証明書発行代行」は、ものづくり大学同窓会からの就業支援の一環として、会費を納めている正会員に限り無料で証明書発行に係る手続きを同窓会が代行するものである。

3.9.2 実績報告

2018年度は、6件の申請を代行した。卒業生に向けた制度の周知方法を検討し、引き続き実施していきたい。

4. まとめ

ものづくり大学同窓会は、2008年度に設立して10年が経ち、少しずつ制度や活動の幅を広げ、10年の節目にて、記念式典を開催することができた。また、設立時から継続して行っている地域貢献活動に加え、卒業生、在学生向けの支援活動の幅も年々広がっている。2019年度では、支援規模拡大のため、新たに新入生向けの贈呈品を検討している。

ものづくり大学同窓会の認知度向上のため、広報手段として、HP、ブログ、ツイッター、facebook、ものづくり大学同窓会 LINE 等で引き続き活動の周知をしていきたい。

謝 辞

ものづくり大学同窓会の活動に際し、学校法人ものづくり大学ならびにご支援頂いた教職員の皆様、実習用機器および廃材提供では総合機械学科・建設学科より多大なるご支援を頂いています。また、本活動には同窓会役員をはじめ、多くの卒業生・在校生有志のご助力を得ています。ここに、紙面を借りて関係各位に深謝いたします。

文 献

- 1) 加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・宮本伸子：ものづくり大学同窓会 平成 22 年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.104-107, 2011.6
- 2) 加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・宮本伸子：ものづくり大学同窓会 平成 23 年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.119-122, 2012.6
- 3) 加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・川辺憲一：ものづくり大学同窓会 平成 24 年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.113-116, 2013.6
- 4) 中元良成・加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・川辺憲一：ものづくり大学同窓会 平成 25 年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.69-72, 2014.12
- 5) 中元良成・加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・川辺憲一：ものづくり大学同窓会 平成 26 年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.49-53, 2016.4
- 6) 中元良成, 上原苑子, 加藤大樹, 大塚秀三, 齋藤修一：ものづくり大学同窓会 2015 年度 活動報告 pp.32-37, 2018.2
- 7) 中元良成, 上原苑子, 加藤大樹, 神裕仁, 大塚秀三, 齋藤修一：ものづくり大学同窓会 2017 年度 活動報告 ものづくり大学紀要 2018, pp.38-41 2018.12